



2019年10月31日

各 位

会 社 名	三菱重工業株式会社
代 表 者	取締役社長 泉澤 清次 (コード番号 7011)
上場取引所	東 名 福 札
問合せ責任者	I R ・ S R 室長 井上 卓 (TEL03 - 6275 - 6200)

当社子会社（三菱航空機株式会社）の発表に関するお知らせ

当社子会社である三菱航空機株式会社（取締役社長：水谷久和、本社：愛知県西春日井郡豊山町）は、本日、「トランス・ステーツ・ホールディングス社との契約の解消について」を発表いたしましたので、添付のとおりお知らせいたします。

なお、本件に伴う当期連結業績への影響は軽微です。

以 上

トランス・ステーツ・ホールディングス社との契約の解消について

2019年10月31日 名古屋 -

本日、三菱航空機は、傘下に3社のリージョナル航空会社を有するトランス・ステーツ・ホールディングス社(TSH)との契約(Mitsubishi SpaceJet M90:確定 50機、オプション 50機)を解消することを発表しました。両社の緊密な協議の結果、現行の契約内容は、米国市場の要求(スコープクローズ)を満たさないことを理由に、本契約を解消することが決定されました。

なお、今後の議論は、スコープクローズに適合するSpaceJet M100に焦点を当て実施されることとなっております。

当社社長の水谷久和は「TSH社は長年に渡り当社の航空機プログラムを支持頂いており、今後SpaceJet M100の発注に関する協議も続けていけることを期待しています。私達がTSH社と契約を締結した当時のリージョナル市場の見通しは、現在とは異なっており、米国のスコープクローズは予想通りには緩和されませんでした。その為、私達は航空会社の顧客と協力して、米国市場に対応するための戦略に転換してきました。私達はSpaceJet M100が北米市場を主導する機体になると確信しています」と話しました。

今年6月に当社は、同クラス機の中で唯一の最新設計で、且つスコープクローズの要求を満たすモデルとして、Mitsubishi SpaceJet M100を発表しました。この機体は北米顧客から既に最大115機購入に関する協議開始の覚書を締結しております。SpaceJet M100の開発スケジュールは、同機のベースとなるSpaceJet M90の型式証明及び納入に基づいて検討されます。

当社最高開発責任者のアレックス・ベラミーは「SpaceJet M100は、乗客の満足度を向上させ、かつリージョナル機で最大市場の米国を含む世界中のエアラインや運航会社に、より多くの利益をもたらす製品として計画しています。また、現在当社は、クラス最高のリージョナル機で世界での市場を満たす重要なステップとして、当社は現在SpaceJet M90の型式証明に全力で取り組んでおります」と話しました。

Mitsubishi SpaceJetファミリーに関する詳細は[こちら](#)です。

三菱航空機について

Mitsubishi SpaceJetファミリーは、三菱航空機が開発、販売、及びサポートする次世代リージョナルジェット機で、同クラスの機体の中で最大の客室空間及び座席幅、そして大きなオーバーヘッドビンを提供します。三菱航空機は三菱重工のグループ会社で名古屋にグローバル本社を構え、米国本社はワシントン州レントンにあります。

【本件に関するお問い合わせ先】
三菱航空機 広報窓口
花澤 Tel: +81-(0)80-1612-3237
山本 Tel: +81-(0)80-6988-2633